

公開楽集会（星空案内） 報告

プラネタリウムによる楽しい星座の話

講師：池田光児氏（富山県天文学会会員、日本公開天文台協会準会員）

日時：平成 27 年 10 月 18 日（日）11 時 00 分~12 時 00 分

場所：国立立山青少年自然の家プラネタリウム

オプション：館内反射望遠鏡による昼間の天体観測

参加者：16人

講師の池田氏から星の動きの説明や星座の位置と、それぞれの神話の関連などを。ユーモア溢れる口調でお聞きした。

年に一度しか会えないという織姫星（ベガ）と彦星（アルタイル）の距離は15光年、遠距離恋愛のようだが、実はベガの年齢は30億年であり、これまでに何万回あっているのか計算できないほど、熱愛できるそうです。（報告者の計算では1000万回会える。お互いに長寿として100歳の人間にとって、年に10万回、なんと1日に300回も会える距離にいるので、互いに在宅勤務であり、1室で仕事をしているようなものです。）その他、神話と星座の話は尽きることなく溢れ出し、あつという間の一時間でした。どこまでが冗談なのか判断に迷うところもありました。

午後は館内反射望遠鏡による日中の天体観測を行った。月はあまりにも大きく見え、金星は視野いっぱいに広がり、驚きであった。2時ころに終え、紅葉が始まりつつあった立山青少年自然の家を後にした。



日中の天体観測



ドーム